

2013 年度日本海洋学会春季議員会 議事録

日時 2013 年 3 月 22 日 (金) 18 : 00 ~ 20 : 00

場所 東京海洋大学生協

出席者 秋友、淡路、安藤、池田、石丸、磯田、磯辺、市川、今脇、岩坂、植原、植松、大島、岡、小川、蒲地、蒲生、川合 (義)、神田、轡田、久保田、倉賀野、小池、根田、齊藤、須賀、千手、武岡、武田、津田、中田、羽角、日比谷、古谷、升本、松野、道田、安田、柳、山中、吉田各評議員、久保川次期大会長、鈴木環境科学賞委員長代理、馬場大会長、速水海洋環境問題研究会会長、中村西南支部代表代理、渡邊大会事務局長、渡邊論文賞選考委員長、小畑、川合 (美)、河野、杉崎、原田各幹事、毎日学術フォーラム (出戸、平坂)

委任状 上、江淵、謝、高槻、平、武田、西田、松野、道田、山形 (10 名)

開会に先立ち、神田幹事から出席 49 名、委任状 10 名の計 59 名の有効出席員数があり、評議員会細則第 3 条の規定により評議員会の成立要件を満たしている旨の報告があった。

1. 会長挨拶 (植松会長)

本年度より特に取り組むべき項目として、学会主導による大型研究の推進・若手会員の育成・他の学会との交流・海外学会との連携・会員の特典・財政の立て直しの 6 つが挙げられた。

2. 大会委員長挨拶 (馬場大会委員長代理)

本大会の大会参加者数、発表数等について報告された。

3. 幹事の委嘱 (植松会長)

小畑氏、鈴木氏、山中氏の 3 名が推薦され、承認された。

4. 報告事項

1) 会務報告

a) 庶務 (岡幹事)

2012 年 1 月から 2013 年 1 月までの会員異動状況について報告があった。また、通常会員数が昨年に比べて 80 名減少したことが報告された。

b) 編集

i. Journal of Oceanography (日比谷編集委員長)

発行状況についての報告があった。また、二重投稿の事実についての説明があり、編集委員会での協議の結果、論文の取り消しは行わず、第一著者および責任著者の所属先に注意勧告を行うことが報告された。

ii. 「海の研究」(久保田編集委員長)

発刊状況ならびに編集委員の交代および退任についての報告があった。また、投稿既定の一部改定についての説明があった。

iii. 「JOS ニュースレター」(津田編集委員長)

2012年度の発行状況についての説明がなされた。2013年度も年4回の頻度で発刊する計画であることが報告された。

c) 研究発表(鈴木幹事)

2013年以降の大会開催計画について報告があった。

d) 賞選考

i. 学会賞・岡田賞・宇田賞(日比谷委員長)

2013年度学会賞、岡田賞、宇田賞の選考結果が報告された。

ii. 日高論文賞・奨励論文賞(渡邊委員長)

2013年度日高論文賞、奨励論文賞の選考結果が報告された。

iii. 環境科学賞(鈴木委員長代理)

2013年度環境科学賞の選考結果が報告された。

e) 選挙(山中幹事)

学会賞・岡田賞・宇田賞受賞候補者選考委員、日高論文賞・奨励論文賞受賞候補者選考委員、および環境科学賞受賞候補者選考委員の選挙結果が報告された。

f) 海洋環境問題委員会(鈴木委員長)

青い海助成事業の採択課題と内容についての報告があった。

g) 海洋環境問題研究会(鈴木委員長)

活動内容についての報告がなされた。沿岸調査マニュアルの改訂を行う予定であることが報告された。

h) 沿岸海洋研究会(武岡研究会長)

今大会で開催されたシンポジウムの概要およびその他の活動についての報告がなされた。50周年の記念本が夏頃に刊行される予定であることが報告された。

i) 西南支部(中村支部長代理)

資料に基づき、2012年度の事業報告、今後の事業計画が紹介された。

j) 教育問題研究会(市川研究会長)

資料に基づき、教育問題研究会の活動報告および計画が紹介された。出席者から、東京大学

の海洋教育促進センターと連携してはどうかという意見が出された。また、小・中学校の指導要領の改訂は10年後であり、長期戦として取り組むべきであることが指摘された。

k) ブレークスルー研究会（渡邊会長）

これまでの活動についての報告があった。2012年9月に研究会として発足したことが報告された。

2) 学界関連報告

a) 学界動向（須賀副会長）

各種関連会議・団体の動向などについての報告があった。詳細は年2回程度 JOS ニュースレターにて紹介する他、総会および評議会においてハイライトおよび最新情報を口頭で紹介する計画であることが報告された。出席者から、ニュースレター発行までは時間がかかるので、海洋学会のウェブサイトでも紹介してはどうかとの提案がなされた。

b) 日本地球惑星科学連合（原田幹事）

セクション名の変更、連合大会の概要、JpGU のジャーナル計画、宇宙開発に関する意見書の提出等の動向が紹介された。

c) 水産・海洋学研究連絡協議会（津田幹事）

協議会は年3-4回開催されており、これまでに大型計画・法人化・震災対応などに関する情報交換が行われてきたことが報告された。

3) その他

a) 震災対応 WG（津田幹事）

2011年4月に設立された震災対応 WG の主な活動についての報告があった。3月をもって解散となるが、報告書を作成してウェブサイトに公開する予定であることが紹介された。また、今後は神田幹事を震災対応窓口とし、幹事会で対応することが報告された。

b) 将来構想委員会（津田幹事）

2012年3月に設立された将来構想委員会の活動について、将来構想報告書の作成、2件の大型研究の提案および練習船研究利用についての提案を行ったことが報告された。3月をもって2011-12年度の活動を終了すること、報告書の最終版を海の研究に投稿する予定であることが報告された。

4. 審議事項

1) 2012年度事業報告並びに決算報告について（岡幹事、河野幹事）

2012年度事業の概要が報告された。

2) 2012 年度監査報告について（小池監査）

2012 年 3 月 8 日、今脇、小池の両監査により、学会事務局において 2012 年度監査が実施され、当該年度の会計処理が適切に行われていたこと、残高を確認した旨報告があった。監査報告を踏まえ、2012 年度事業報告、決算報告、監査報告が承認された。

3) 2013 年度事業計画並びに予算案について（岡幹事、河野幹事）

2013 年度事業計画、予算案が提案された。今後は、厳しい予算状況になることが見込まれ、対応が必要であることを確認した。審議の後、2013 年度事業計画と予算案は原案通り承認された。

4) 海洋環境問題研究会長交代（岡幹事）

新会長として速水会員が推薦され、承認された。

5) 教育問題研究委員会長交代（岡幹事）

新会長として岸会員が提案され、承認された。

6) ブレークスルー研究会会則の改訂（岡幹事）

修正案が提示され、承認された。

7) 2013 年度通常総会議事次第案について（岡幹事）

報告事項に水産・海洋学研究連絡協議会に関する報告を追加することとし、その他は原案通り承認された。

9) 2014 年度春季大会の開催について（鈴木幹事）

2014 年度春季大会を JAMSTEC 所属会員により、東京海洋大学品川キャンパスにて開催することを承認した。なお、大会長は深沢会員、事務局長は才野会員が就任する予定であることが報告された。

10) その他

(a) 学会賞・岡田賞・宇田賞選考委員の追加について（植松会長）

論文賞選考委員として武田重信会員、環境賞選考委員として栗原晴子会員の就任を承認した。

その他

1) 2013 年度秋季大会について（植松会長）

久保川次期大会長から、札幌での秋季大会に向けての挨拶があった。